

大崎中学生が快挙！吹奏楽部・女子バレー

8月3日（月）、大崎中学校の吹奏楽部員と女子バレー部員が町長を表敬訪問し、各大会の結果報告を行いました。

吹奏学部（木場智明教諭：部員 54 名）は、第 54 回県吹奏楽コンクールにおいて見事金賞を受賞いたしました。主将 吉田佳央理さんは、「夏の祭典の銀賞の悔しさをばねにがんばりました。皆様の応援のおかげで金賞を受賞することができました。町のいろいろな行事に参加し、演奏を聞いてもらいたい。」と話されました。

女子バレー部（田代裕久教諭：部員 17 名）は、鹿児島県中学校総合体育大会バレーボール大会にて、初優勝しました。

地区予選を勝ち抜いた 40 チームが参加した大会で、決勝までの全試合がストレート勝ちとなる圧倒的な強さで優勝を飾り全国大会への切符を手にしました。

8月 17 日から大分県にて開催された第 39 回全日本中学校バレーボール選手権大会に出場し、ベスト 16 という成績を納めました。

大崎中学校生のこれからのますますの健闘を期待しています。



吹奏楽部・女子バレー部の皆さん



全日本中学校バレーボール選手権大会

生きもの引っ越し・学習会！

長田地区では、ほ場整備を実施することに伴い、田んぼや用水路に生息している生きものを守ろうと 8月 23 日（日）、生きもの引っ越し・学習会を実施しました。

参加したのは、平良・飯隈集落の子供たち 30 人で、アミなどの道具を使って魚や貝、水生昆虫を捕まえ、バケツやトレイに入れて名前などを調べました。

水路には、メダカ、タカハヤ、ドジョウ、ヤゴ、タイコウチ、アメリカザリガニ、コガタノゲンゴロウなどいろいろな生きものが生息していました。

なかでもメダカやコガタノゲンゴロウやドジョウは、絶滅する恐れがある希少な生きものだそうで、これらを絶滅させる危険がある外来種と言われるアメリカザリガニを引っ越しさせないなど、生態系に配慮しながら、新しい水路に魚たちを移しました。

今回の引っ越しで、絶滅の恐れがある希少な生きものがたくさん生息していることがわかりました。この活動を行うことで、きっと、生きものたちは、工事をする前のように、この地区の田んぼや水路で生活し、卵や子供たちを残して行くことでしょう。

また、近年子供たちの遊び方が変わりつつありますが、生きものとふれあう楽しそうな姿を見て、本当の笑顔を見れた気がしました。

▼絶滅の恐れがあるメダカが沢山生息しているということは、水がとてもきれいな証拠だそうです。

